

「禁煙、節酒で予防を」

製鉄記念病院 脳卒中セミナー

製鉄記念室蘭病院（室蘭市知利別町）は5日、市民を対象にした健康セミナーを同病院で開いた。同病院脳神経外科長の林征志医師（47）が、脳卒中の予防法などを解説し、「禁

煙や節酒など、日ごろの健康管理こそ大切」と強調した。

市民ら1000人が参加した。林医師は、脳卒中の代表的な症状として、①ろれつがまわらない②体の半分のみ

が入らない―などを挙げ、「脳卒中は時間との勝負。こうした症状が出たら救急車をすぐに呼んでほしい」と話した。

このほか、日本脳卒中協会福岡県支部がまとめた「予防のための11カ条」を紹介した。禁煙や節酒のほか、日常の適度な運動や減塩の必要性を話し、「定期的に脳ドックを受診して健康状態を確認してほしい」と呼び掛けた。

（相沢宏）

「脳卒中の予防のためには禁煙や節酒が有効」と話す林医師

